

第104回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

日時：2020年10月7日（水）18：30～20：00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 16名

3 会議内容

<新規提案>

（1）言語聴覚士と吃音

【概要】

- ・おおさか結言友会と福井言友会の協力をもとに、吃音に関する講座を行う。内容は言語聴覚士の仕事や吃音の話、吃音の体験談発表（3名）などを予定。
- ・参加者同士で交流するための何か良い案があれば募集したい。
- ・会場で参加できる定員を確保するために、関係者はリモート参加にしたい。
- ・同日、吃音の相談会も開催する。相談人数によって、イベント中か終了後どちらに開催するか当日判断する。

【意見】

- ・講座と相談会の違いがはっきり区別できるよう、相談会の案内はチラシ下部にした方がよい。
- ・チラシにはあまり専門的なことは書かず、一般の方に分かりやすいように工夫したほうがよい。

（2）園田の学びを生かすクイズ大会（園田学園女子大学 つながりプロジェクト）

【概要】

園田学園女子大学の4学科（総合健康、人間看護、食物栄養、児童教育）の学びに特化した、健康や生活に関する3択クイズ大会を開催したい。

- ・学生は計13名。イベントの対象は小学生3～4年生とする。

【意見】

- ・小学生を対象とする場合、問題数はあまり多すぎない方がよいのではないかと。
- ・クイズに答えられたら印をつけるなどのゲーム性を取り入れ、景品を用意してはどうか。
- ・クイズだけではなく、紙芝居をする等を取り入れるなどメリハリをつけた方がよい。
- ・図書館で開催するので、図書館の本から出題し本に興味を持ってもらえるような工夫を。
- ・一度、大人に向けて予行演習を行ってから、本番に臨んだ方がよい。
- ・問題を出して回答させる、と淡々とクイズを進めるより、参加した小学生に「なぜその答えを選んだか？」と発問をして企画者とのコミュニケーションを取りながら進めてはどうか。
- ・対象は、自分たちが何を伝えたいのかや出題する問題を考えてから、最後に決めても良いのでは。

(3) オープンデータソン

【概要】

- ・オープンデータソンとは、**Wikipedia** や **Open Street Map** を利用し、自分の町の情報をデータに残すことである。本企画では、参加者が自分の町で現地調査を行い、その後図書館の郷土資料を利用してデータとしてアーカイブするまでを体験してもらいたい。
- ・調べるテーマは企画者で事前に決定し、イベント告知の段階で公開しておくようにする。
- ・必要な郷土資料についてのレファレンスを図書館にお願いしたい。
- ・現地調査のあとは、**Wikipedia** でまとめるチームと **Open Street Map** でまとめるチームに分かれて実施予定。

【意見】

- ・**Wikipedia** が荒らされた時の対処方など、**Wikipedia** に関することも教えてもらえるか？
→基本は、オープンデータソンをするために必要なことのみ説明し、著作権や信憑性に注意しながら進めていく。個別に聞いてもらえれば回答はする。
- ・参加にあたって、必要な持ち物はあるか？
→PCやタブレット端末が必要。スマホのみであると作成が難しい。
- ・オープンデータソンのような活動を地域の方が主体となっていることが素晴らしい。

<イベント実施報告>

(1) いたみ文芸ことそうし

試験的にオンライン参加でイベントを開催した。オンライン参加している場所が静かな場所でない場合は集音マイクなどが必要だと感じた。

今回は、参加者の作品による文集を作るので、ご興味のある方はぜひ参加してほしい。

(2) 親子で遊ぼう！紙芝居

紙芝居の実演を行った後、はがきサイズの用紙4枚で紙芝居を作ってもらった。

自分の自己紹介や好きな物または空想の物語など様々な紙芝居を作っていた。

作った紙芝居を披露する子どもたちの姿に感動した。

(3) おすすめ本の交換会 虫辺のカエボン部

鳴く虫と郷町に合わせ、「たまご」をテーマに開催。「たまごが先かにわとりが先か」にまつわる本が多く集まるなど、少しテーマが難しかった。

今回は10月21日(水)18:30～ 「食欲の秋」に関する本をテーマに開催。

(4) 漫画を語ろう

今回のテーマは「シルバーが活躍する漫画」。テーマに沿った漫画が限られており紹介された本は少なかったが、トークは盛り上がった。

今回は10月28日(水)18:30からで、テーマは「スポーツ漫画」

(5) ことば蔵で読み語り

テーマ「信」に沿った4冊の絵本の読み語りを披露した。読み語りの合間に、ストレッチやテーマの絵本に関連するお話をしているが、参加者からそれを楽しみにしているという意見をもらえて嬉しかった。次回は10月30日(金)18:30から。テーマは「緒」。

(6) 伊丹線の思い出を熱く語ろう！

阪急伊丹線の開通100周年を記念したイベントを開催した。神戸線と同時に伊丹線が造られたことや、伊丹線が阪神地区の中継駅になっていた可能性があることなどをお話した。クイズでは、こどもから大人まで必死に挑戦してくれた。

参加者の阪急伊丹線の思い出話も話してもらい、とても盛り上がった。また、事前の展示では阪急伊丹線の電車の写真やタミータウン時代の阪急伊丹駅の復元作品も展示していた。

(7) ことば蔵で風流を

新型コロナウイルスもあり、邦楽演奏は難しいと思っていたが、定員を20名に設定し、対策を講じた上で開催することができた。プロの津軽三味線奏者の演奏はとても素晴らしかった。

(8) 減災ママ講座

これまで小学生を対象とした減災・防災講座を行っていたが、今回はママを対象にして開催した。地震が発生した時の身の守り方で大切なセーフティゾーンの確保や、防災マップ等を使い自宅地域の危険性を実際に参加者で確認してもらった。

応急手当の体験としてAEDや心臓マッサージを乳幼児や児童の人形を使って行った。防災に関する知識や情報で伝えたいことが多かったものあり時間が少し長くなってしまったので、もう少し内容を絞れば良かったと感じた。

(9) ギャラリートーク

『喫茶店の時代』の著者である林哲夫さんを招いてのトークイベントを開催した。林さんのファンや喫茶店好きの方が参加されており、熱心にお話を聞いていただけで良かった。新型コロナウイルス対策を講じつつ図書館という場所で本に関するイベントが実現できて嬉しかった。

(10) ものづくりとカメラ修理の世界

機械工である企画者と、カメラ修理を専門とする河本カメラサービス代表の鈴木さんが、それぞれの職人の世界について紹介するイベントを開催した。

子どもたちが職人の世界を描いた漫画や、専門的な道具に興味を示してくれて嬉しかった。

4 次回の運営会議 **2020年11月4日(水) 18:30**～図書館ことば蔵1階 交流フロア